

料金別納郵便



伊勢崎晃一郎 展

令和5年7月4日(火)~9日(日) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時 (最終日9日は午後5時まで)

作家在廊日：7月4日(火)~6日(木)、8日(土)~9日(日)

陶歴	昭和49年	岡山県備前市伊部に人間国宝 伊勢崎 淳の長男として生まれる
	平成8年	東京造形大学 彫刻科 卒業
	平成10年	渡米 ニューヨーク在住の陶芸家 ジェフジャピロ氏に師事
	平成12年	帰国後、父 伊勢崎 淳に師事
	平成21年	第26回 田部美術館 茶の湯の造形展 奨励賞 (平成24.28年)
	平成22年	第53回 日本伝統工芸 中国支部展 日本工芸会賞
	平成26年	第15回 福武文化奨励賞
	令和2年	伊勢崎晃一郎展 成る (LIXIL ギャラリー、東京)
	令和5年	2022年度 日本陶磁協会賞

肌寒さがまだ残る弥生月の一、備前に向かいました。備前の地を踏んだのは何年ぶりでしょう。満面の笑みの晃一郎さんと再会を祝し、ご馳走になった香り高い蕎麦をたぐりながら、昨今の作陶からSDGsまで色んな話に花が咲きました。心豊かな晃一郎さんとお話していると、此方まで気分が浮き立ちます。工房では、ご一家の可愛い愛犬と戯れつつ、彼が自ら点でてくれた美味しいお茶を頂きました。もちろん頂いた茶碗は大好きな晃一郎盤。旅の疲れもどこかへ飛んでしまう瞬間ですね。

本展のご案内状用にお送り頂いた一盤は、晃一郎さんらしい清新な造形に、灰のかぶった景色も美しい逸品でした。八日間という長い時間、烈火で焚かれた本盤は、よく焼き締まり、掌でぐると回しながら、抹茶の緑がさぞ映えるだろうと感じた次第です。そして、弊廊で三回目となる本展では、この様な茶陶を中心に最新作40点を発表致します。この拙筆を書いている最中も窯焚きの只中との事で、ご成功をお祈りするばかりです。どうぞ皆様のご来廊をお待ち申し上げております。

末尾になりますが、2022年度(令和4年度)の日本陶磁協会賞のご受賞、本当におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。私も自分の事以上にとても嬉しく、これまでの晃一郎さんのご努力に敬意を表し、ますますの弥栄を願って止みません。

店主 安田尚史

柿屋ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram



160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com



お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。

